



RI 会長テーマ

2022～2023 年度  
大船渡西ロータリークラブ会報

# 七福人

会 長 古内 一ニ  
副会長 山口 徹  
幹 事 今野 義也



= 会長指針 =

お互いを理解しあおう

## ．．． 例 会 記 録 ．．．

9月第5週例会 2022年 9月29日(木)

ソング : 奉仕の理想                      ボックス : 21,000円                      (報告者 新沼達央会員)  
本日出席率 : 60.00%                      前回修正後97.14% (メンバー13名)                      (報告者 新沼福三会員)

★ 会長の時間 : 古内一ニ



本日の会長の時間は、東京の床屋さんで「理容米倉」と言う店の話をさせていただきます。創業者は米倉 近(ちかし)という方で 大正7年に22歳の若さで開業し、現在店舗は銀座の本店はじめ、ホテルオークラ東京店、リーガロイヤルホテル大阪店、京都店、広島店、神戸トアロード店、そして海外オランダ、アムステルダム店の7店舗で、現社長は4代目です。ちなみに、会長の米倉宏氏は東京西ロータリークラブの会員でもあります。

理美容の仕事となると、当クラブではアービルさんと同じ職種になりますが、アービルさんも大船渡本店はじめ、盛店、気仙沼店、釜石店、と素晴らしい多店舗経営を展開しており、その経営理念の一端でもと、卓話をお願いしていますが、なかなか承諾を戴けずにいます。楽しみにしていますので、よろしくお願いします。

さて話を元に戻しますが、創業者の米倉氏の言葉に「業即信仰」という言葉が有ります。これは、米倉氏の母が大変信仰心の厚い方で「あなたの守り本尊は、観音様なので毎月18日に観音様をお参りしなさい」と言われ、その言いつけをよく守っていましたが、ある日寝坊をしてしまい、お参りは済ませましたが、店の開店時間に間に合わないことがあったそうです。ちょうどその時に店に訪れた松竹の創業者、大谷竹三郎氏は「観音様にお参りする自体話は良いが、開店中に主人が留守とはどういうことか、お客に不自由をさせて御利益などあるだろうか」と懇々と諭され、最後に客商売は、「客が店の信者です」とおっしゃったそうです。米倉氏は我が身を大変恥じ、お客様を差し置いて観音様をいくら拝んでも御利益などあるはずがない。理容業と言う生業に打ち込むことがそのまま信仰につながるという確信を得、この教訓を「業即信仰」の4文字に表したそうです。実はこの話、松下幸之助氏も講演の中で話されています、最後にその講話の一部を聞いていただき、終わりにしたいと思います。

松下幸之助 昭和43年1・22日74歳

「お客様の頭を刈っても、その仕事に信仰をもっている。そこに喜びを感じているんだ。だからお客さんも大事にして、お客さんが来てくれることに対して非常な喜びとありがたさをもっている。したがってお客さんに手を合わせて、拝むような心持ちになるんだ。そこにその散髪屋さんの繁盛もあるし、そこで育つお弟子さんがたが、みな人間として立派に成功してもいる。そういうお話を承って、ほんとうにそうだなという感じがしたのであります。

「自分の仕事を粗末にする、自分の仕事に喜びを感じない状態で、何が信仰というものがありましよう。自分の仕事をそういうように大事に考え、そしてさらにより高い信仰というものを感じて生きていくというところにこそ、ほんとうの道があるのやないかという感じがいたします。

◆◆◆ 幹事報告 ◆◆◆

1 東海新報社より

市政施行70周年記念特集号への広告掲載願いが届いています。

掲載 10月13日 締め切 9月30日

2 創立50周年でお世話になった書家の金沢翔子様より引っ越しのお知らせが届いています。

引っ越し先 東京都大田区久が原 画廊も出来ましたのでお立ち寄りくださいとの事

◆◆◆ 委員会報告 ◆◆◆

★志田宏美国際奉仕委員長



大船渡東高校より推薦のあった短期留学生について、応募書類の提出を完了いたしました。4～5人の募集に15人の応募との事で、倍率3倍です。できる限りのホローをしていきたいと思えます。

◆◆◆ 本日のプログラム ◆◆◆

国際奉仕アワー : 濱守豊秋会員卓話



- 入会して三年目 IA 小委員長に任命され、当時の会長に「大船渡農業高校(現大船渡東高校)の IAC の活性化を図ってほしいと頼まれる。IA の例会に毎回参加していると、「校長先生の気持ちを変えない限り、IAC 会員の増員は見込めない」との話を聞く。

いつものように IA 例会時に校長室を訪れていた時。「私はロータリーが大嫌いなんです。」と校長先生。これではだめだと思い、IA 生の中からオクラホマへ短期交換留学生として2名を派遣。この子たちが帰国後、「何か恩返しできることはないか？」というので、IAC 生の増員を依頼。たちまち会員は増加し、地区などから表彰を受けた。

●韓国南原中央 RC との友好クラブ締結について

元会員の洪甲童(こう こうどう)さんのお墓参りがきっかけ。洪さんの弟さんが南原中央 RC の会員であるとの事から友好クラブ締結に動き出し、釜山東南 RC の権さんのお力添えもあり締結へところぎつきました。豊臣秀吉の朝鮮出兵の際に南原の1万人の兵士が亡くなり「万人義塚」というお墓があることも知り、その事もあってなかなか首を縦に振らなかったのかなと思えました。

その後、船砥会長の時「架け橋の翼」の合意書を作成し、今日至っています。

南原中央 RC では、「架け橋の翼」事業に積極的なので、今後も続けられればと思います。